

# 六員環構造水<sup>®</sup>

## ハンドブック

Cyclic water Hexamer





# 目次

CONTENT

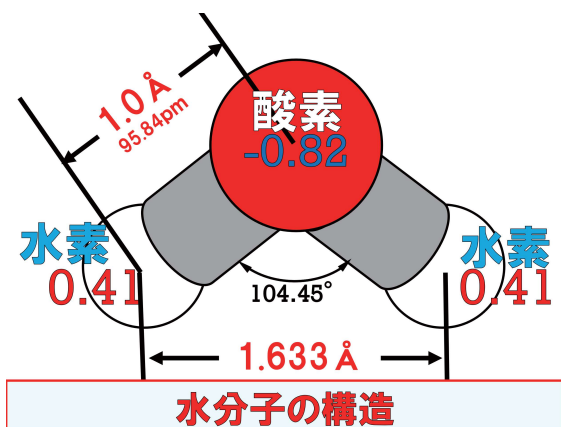
## 水について

中部経済新聞 連載シリーズ「メデイカルニュースより抜粋、追記」

- |    |                    |       |    |
|----|--------------------|-------|----|
| 01 | はじめに               | ----- | 2  |
| 02 | 六員環構造水開発秘話！        | ----- | 6  |
| 03 | 水の構造は1千億分の1秒       | ----- | 8  |
|    | 1997. 7. 1 掲載記事より  |       |    |
| 04 | 六員環構造水は不老長寿の妙薬     | ----- | 11 |
|    | 1997. 7. 8 掲載記事より  |       |    |
| 05 | 水は生命そのものだ          | ----- | 15 |
|    | 1997. 7. 15 掲載記事より |       |    |
| 06 | 六員環構造水はテープレコーダーだ   | --    | 18 |
|    | 1997. 7. 22 掲載記事より |       |    |
| 07 | 六員環構造水は最も高価な医薬品    | ----- | 21 |
|    | 1997. 7. 29 掲載記事より |       |    |
| 08 | 六員環構造水は生き物だ        | ----- | 24 |
|    | 1997. 8. 5 掲載記事より  |       |    |
| 09 | 六員環構造水は万能薬         | ----- | 27 |
|    | 1998. 8. 25 掲載記事より |       |    |
| 10 | アルカリイオン水と還元水       | ----- | 30 |

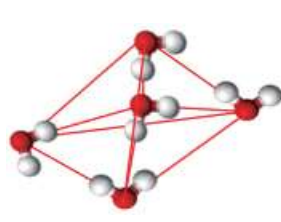
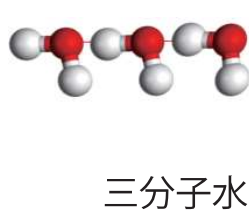
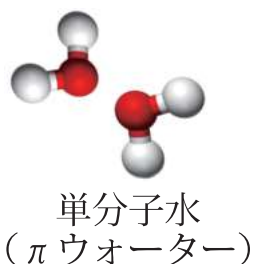
# 01 はじめに

六員環構造水は、健康に良いとされる水の一つで水の結晶が四角形でも五角形でもなくきれいな六角形をした。蜂の巣のように規則的に並んだパワーの大きな水で、安定した構造を持っています。一般に、六員環構造水は五員環構造水より



も安定で、人体にはとても有効的な水で、生理活性が高いと考えられています。水分子は酸素原子が電気陰性であり、水素原子が電気陽性であるため、分子全体が分極しています。この極性により、水は異なる分子と相互作用する能力があり、水素結合などの特異な性質を示します。

下記に水分子の配置例を示します。



赤い線が水素結合です。●が酸素、○が水素です。

六員環構造水の特徴を端的にまとめますと、

- ①水分子が六角形を呈した水である。
- ②水の構造が安定しており五角水などよりパワーが大きい。
- ③体内に吸収されやすく、老廃物を排出しやすい。
- ④雪解け水に多く生物活性を上げる。
- ⑤貴重で、現代では地球上の水のおよそ 10 万分の 1 しかないと言われる。などです。

韓国科学技術院の金武植教授の研究によれば、水には水分子が5つ集まった五員体と五員環、6つ集まった六員環が存在する。そして六員環水は生理活性が高い。雪解け水は六員環水で生理活性がもっとも高い。云うなら「若返りの水」。しかし5日も経過すると次第に活性を失い、五員環水となる。この五員環水を煮沸や消毒すると五分子体となり、活性はほとんど失われると考えられる。という記事が09.09.27の日経新聞14面に掲載されました。今回考案した六員環構造水は炊いても煮沸や消毒してもその力を失うことのない水の考案に成功したので報告する次第です。

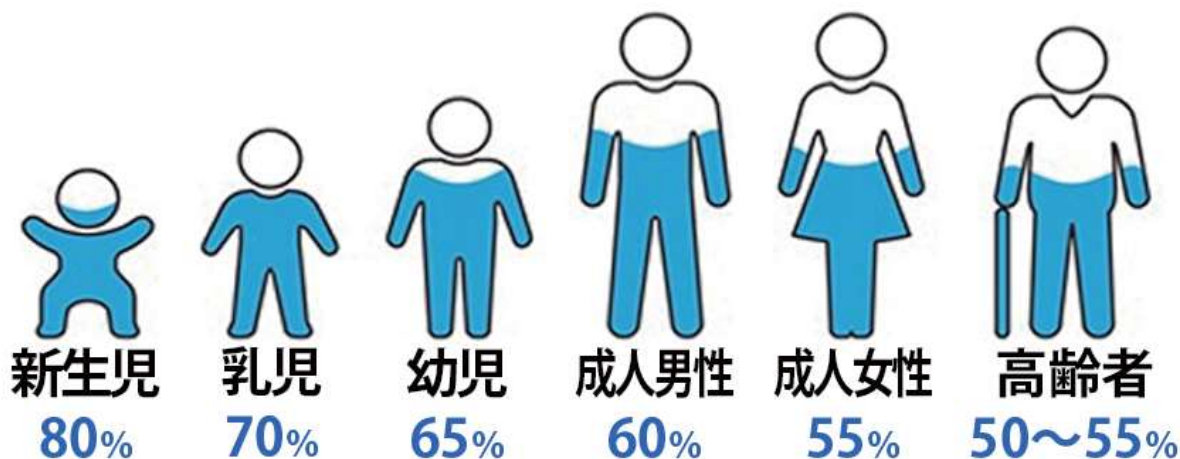
水の分子構造はとても不安定で、絶えず水分子同士で結合したり、また壊れたりを繰り返しています。そうした構造の中、もっとも安定すると言われている形が五分子体、五員体でも五員環でもなく「六員環構造」です。

六員環構造の水は、雪解け水に多いと言われています。六員環構造水は、特殊なプラント（特許申請中、堀 元英、堀 泰典、堀 敏子）で長時間かけて作られることが多く、堀の考案以外にもミネラルウォーターとして販売されています。このような六員環構造水は、その特性から健康に良いとされますが、その効果については科学的な根拠が必要であり、個々の商品や製造方法により異なる可能性が大きいのです。そのため、具体的な効果や利点を理解するためには、各商品の詳細な情報を確認することが重要です。概ね、偽物が多いようです。

本物の吸収されやすい六員環構造水は、生命維持に大切なものです。

ここで炭水化物の消化について触れておきます。炭水化物（米、パン、うどん、パスタ等）は消化酵素によってグルコースなどの単糖に分解され、小腸で吸収されます。吸収されたグルコースは細胞呼吸によって酸素と反応（酸化）し、エネルギーを放出しながら二酸化炭素と水になります。グルコース1分子が完全に酸化されるときに生成されるATPの数は、代謝経路によって異なりますが、一般的には、解糖系、クエン酸回路、電子伝達系の3つの代謝経路を進行させることで、グルコース1分子から最大38分子のATPを合成することができます。

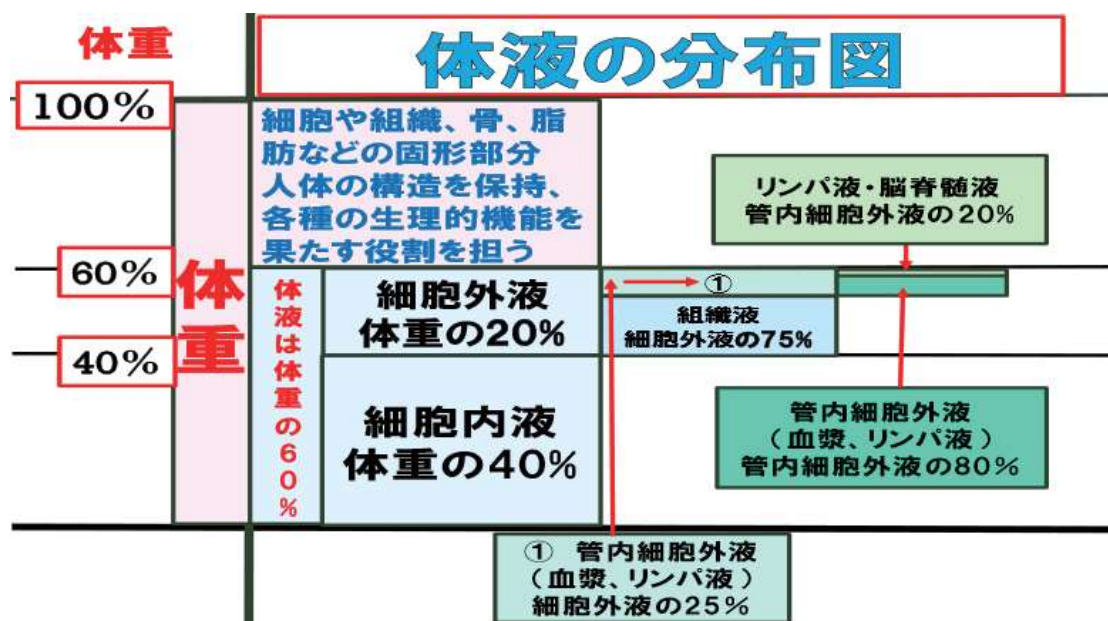
しかし、実際には、細胞内の条件や酵素の活性によって、ATPの生成量は変動する可能性があり、そのため現実的には、グルコース1分子から約30~32分子のATP（細胞の活動、例えば心臓を動かすなどに利用されるエネルギー）が生成されます。この時に水を代謝水といい12分子作られ、2個の六員環構造水になると考えられます。又、水分の分布としては成人男性の場合は体重の60%が女性は体重の55%が水分と言われています。概ねではありますが、体液の内訳は体重60kgの男子では、体液の量は60%の約36%となります。



## 年代別による水分量 重量 / %

それを細かく分けると以下の通りです。

血液は体液の8%、(1/13)で約4.8%、細胞内液は体液の40%で約14.4%、細胞外液は体液の20%で約7.2%、組織液(間質液)は細胞外液の75%で約5.4%、管内細胞外液(血漿、リンパ液)は細胞外液の25%、で約1.8%、つまり、血漿は管内細胞外液の80%で約1.44%、リンパ液・脳脊髄液は管内細胞外液の20%、つまり約0.36%、で24時間で脳脊髄液が約500 ml産生されています。この脳脊髄液も六員環構造水であると考えられます。このように、身体の大半を占める水は重要で、これらはすべて本来は六員環構造水になっているのが理想ということです。



組織液の量は、浸透圧や血圧などの影響を受けて変化します。血管から漏れ出した血漿成分であり、細胞に栄養分や酸素を供給したり、老廃物や二酸化炭素を回収したりする役割を担っています。

組織液は、血管から漏れ出した血漿成分であり、細胞に栄養分や酸素を供給したり、老廃物や二酸化炭素を回収したりする役割を担って、リンパ管に吸収されてリンパ液になったり、再び血管に戻ったりして、体液の循環を維持している動物の生命活動に欠かせない体液（水）なのです。組織液の量や成分が異常になると、むくみや炎症などの症状が起こることがあり、組織液は私たちの身体の健康にとって重要な液体で、組織液のバランスを保つためには、適切な水分摂取や運動、塩分の制限などが必要です。この組織液、代謝水は殆ど六分子水（六員環構造水）と考えなければ「06、六員環構造水はテープレコーダーだ」で述べるRichard J.らの言う「水の6個の集まりは多三次元水素結合構造の最小の代表」であるということと辻褄が合いません。つまり、体内に吸収され生命維持に必要な組織液や消化で作られる代謝水は六員環構造水の可能性が高いのです。

組織水は、細胞壁や膜によって保護されているため、腐りにくく、その特徴を利用して、組織水に砂糖や塩などの保存料を加えることで、微生物の増殖を防ぎ、長期間保存できるようにしている食品の例としてジャムやドライフルーツ、ビーフジャーキー、干物などの保存食が作られています。

ここで一日の水の必要量についてですが、エネルギーを得た時にできる代謝水は1kgあたり5ml生成されますので、体重の約0.5%に相当します。例えば、体重60kgの人は、代謝水で300mlの水分を生成します。

代謝水は、1日の必要水分量の計算にも考慮され、必要水分量は、以下の式で求められます。必要水分量 (ml) = 尿量 (ml) + 便 (ml) + 不感蒸泄 (ml) - 代謝水 (ml) で、不感蒸泄とは、発汗以外で皮膚粘膜から自然に蒸発する水分や、呼吸によって呼気から出る水分のことです。不感蒸泄量は、体重や体温によって変化します。一般的に、成人の平均排泄量は、尿量が1500ml、糞便が200ml、不感蒸泄が900mlです。これらの値を上記の式に代入しますと概算値として、体重60kgの人の1日の必要水分量は、必要水分量 (ml) = 1500ml + 200ml + 900ml - 300ml = 2300mlとなります。水は空気の次に生命維持に大切なものです。パワーのある六員環構造水の多い水を飲用するのが良いと思われれます。

六員環構造水はあくまで水ですので薬の様な効果が有るわけではないことを十分に承知する必要がありますが、細胞が水不測の場合、素早く吸収できる六員環構造水は有効であることは間違いのない事実でしょう。

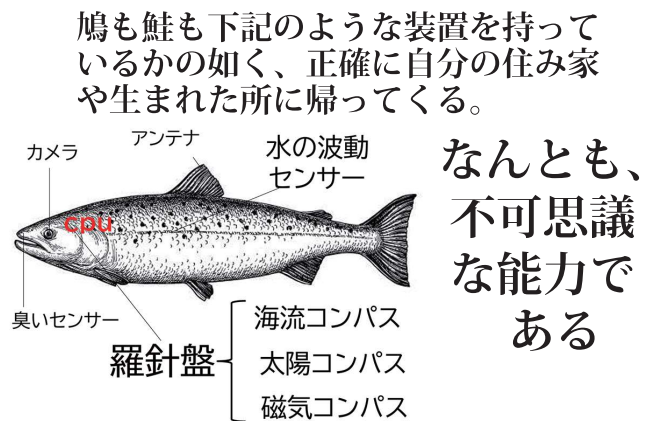
しかし、水に薬のような効果を求め、エビデンスを求める人がいますが、水はどこまで行っても水だということを忘れてはなりません。

# 02 六員環構造水開発秘話！

サケはどうして生まれた川に帰ってこられるのだろうか？という疑問から始まった。サケが戻ってくる方法について様々なことが言われている。

- ①臭覚刷り込み説：サケは一度刷り込まれた記憶は、生涯消えず、稚魚時代に川の匂いを覚えている。
- ②太陽コンパス説：太陽の位置と時刻から自分の位置を知る能力
- ③磁気コンパス説：鳩の帰省能力と同じ能力ではないか
- ④海流説：海流を利用して帰省方向を決定する
- ⑤遺伝子説：サケは生まれた川の特徴を遺伝子に刻み込まれており、それに従って川を選んでいるという説
- ⑥地理的隔離説：サケは生まれた川の周辺にある地形や地質などの特徴を覚えている説
- ⑦社会的学習説：サケは生まれた川に帰る際に、他のサケの行動や情報を参考にしているという説

などですが、それらの証拠はまだ見つかっていません。工場が建てば臭いも代るでしょうし、1m単位で太陽コンパスや体内マグネタイトひいては海流説では説明が難しいのではと思うのです。



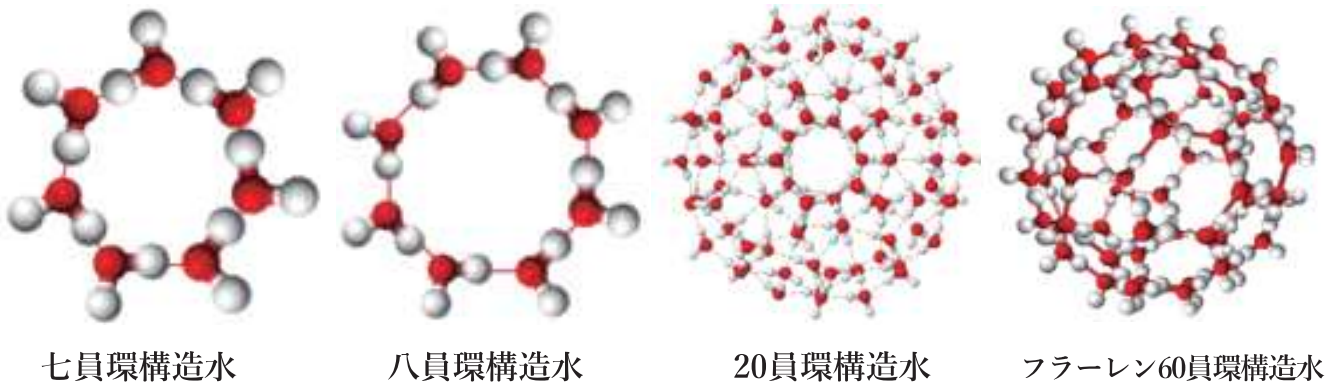
ここで考えられるのが、

- ⑧水の波動説です。魚の卵は99%が水です。親から産み落とされた卵が初めて接する川の水は、その土地特有の振動パターン（波動）をもっていて、卵の中の水はその波動に共鳴して振動パターンを細胞が記憶するのではと考えました。遠いところでは海流説、太陽コンパス、磁気コンパス、臭覚刷り込みにしたがって、自分が生まれた川の水を目指し、近くになれば川が発し続ける波動（電磁波）に共振させれば、どんなに遠いところからでも簡単に故郷を探し出して戻ってくるができるのではないかと考えたのです。



では、ここでいう波動とは何かといいますと、五分子水、六分子水、クラスター水などの種々の水分子の組み合わせによるものと考えられます。

クラスターとは、水分子が水素結合で結びついてできる集合体のことを指します。クラスターは水に溶けている分子やイオンの水和にも寄与している大切なものです。水分子の六量体にはいくつかの異性体が予想されており、環状、冊子型、バッグ型、かご型、プリズム型のものがほぼ同程度の安定性を持つと算出されています。七量体についても2種類のかご型の異性体が計算で得られており、八量体では環状のものと立方体型のものが算出されています。



さらに巨大なクラスターとして28量体や水の分子カゴと呼ばれる特殊な構造の中には水分子が60個のフラーレン構造のものや280個の水分子が正二十面体状に集まったものが、エネルギーの極小値を持つものとして計算されているのです。尚、水道水のクラスターは13個~20個が多いようです。

つまり、水の波動の組み合わせは無量大にあり、水の指紋、水のDNAともいべきものだと言えるのではないのでしょうか？

以上、挙げた例のように、水は分子体が出す固有の波動を介して情報を伝えたりコピーしたりする特性をもっていると考えると辻褃が合うのでは？との考えの元に約48年前の1975年から水の研究を始めた次第です。

この研究をはじめて13年後に「水が薬の効果を記憶して同じ効果を持つ」という不可思議な論文がベンベニスト著「ネイチャー」に掲載（333号、1988年昭和63年6月号）されました。この論文については「07、六員環構造水は最も高価な医薬品」で述べます。この論文の様にベンベニスト博士の実験が正しいとしたなら、水には一種のテープレコーダーとしての働きがあり、それは水の五分子水、六分子水、クラスター水などの組み合わせ以外考えにくいということになります。例えば、トマトやリンゴにモーツァルトの音楽を聞かせると発育が早くなり、糖度が上がるという報告もあるのです。

ここで、水にパワーを与える方法を考え着くまでには堀 泰典が19歳の終わりがごろから実験を開始し48年間、いうに言われぬ苦労があったことを付け加えておきます。

今は「がん」が嫌う波動を加えた六員環構造水の研究に励んでおります。

今回、開発いたしました六員環構造水は加熱しても、沸騰させても、凍らせても、陰圧や加圧を加えても料理に使用してもその特性を失うことはないのです。この様に特性を持続できるようにしたところがすごいところだと自負しています。作成過程で長期保存（5年程度）ができるように121℃で加熱していますが、特性を失わずにいるのです。最初の方でも述べましたが、六員環構造水は本来5日も経過すると次第に活性を失われますが、この六員環構造水は5年間以上活性が失われません。

身体によい水はオーリングテスト、アップライトキネシオロジーなどが強くなる傾向にあることは事実です。しかし、水でそのような反応を示す水は限りなく0に近いのが現状です。手に入るミネラルウォーターを数多く実験いたしました。私の研究によりますとルルドの泉で約40%程度の有効性でした。その他のミネラルウォーターはほぼ0でした。しかし、今回開発した六員環構造水は85%以上の有効を示しました。

ネットで「六員環構造水、体幹」で調べて頂くと体幹重力軸テストのやり方の動画が出てまいりますので、お試しください。

## CONTENT

# 03 水の構造は1千億分の1秒

昭和34年頃から食品に添加物が加えられるようになり、いまや私達の食生活は添加物とともにあるといえます。

さらに環境破壊が進んだため、水も汚染されてしまい、もはや私達が安心して口にできるものは非常に少なくなっています。なかでも生命の基本である水の汚染は深刻で、水道水をそのまま飲むことに抵抗を感じ、ミネラルウォーターを常飲する人が増えています。

## 水の重要性

水は人体の60~70%を構成しており、大変重要なものです。しかし、水に関して何が真実であるか最終的な結論はまだでていません。そこで、水研究の草分け的存在である韓国科学技術院教授の全武植博士の考えを要約しますと、水分子が

6個集合した六分子水を飲むことで健康になり、あらゆる病気を改善する力を秘めている可能性がある」と結論しています。

## 水に関する基礎的な知識

水分子の $H_2O$ が多く集まったのが我々の飲む水です。しかし、水分子は空間に均一に散らばっているのではなく、ある規則のもとに一定の関係を保ったグループになっていて、そのグループが寄り集まって水になります。これはあたかも $H_2O$ がブドウの房状に集まって見えるのでクラスターと呼びます。

水が持っている性質の不思議さは多数ありますが、その理由の一つは水がたんなる $H_2O$ の寄り集まりなのではなく、水分子同士のいくつかが結合した状態、つまり $(H_2O)_n$ という特定の構造を有する会合体になっていることです。

たんなる $H_2O$ では水がどうして0度で氷となり、100度で沸騰し蒸発するのか説明がつかなくなります。そこで特定の構造を有する会合体ということで考えれば説明がつくのです。その会合体とは水分子が複数で1組のグループ、あるいは $H_2O$ 単独で存在しています。この中でも6個1組のものを六分子体（六員環水、六員環構造水、六分子水）、5個1組を五分子体（五員環水、五員環構造水、五角水）などと呼びます。しかし、これら五分子体は吸収されにくく、体内で働きにくいと言われていています。水分子の構造はおおよそ正四面体の構造です。つまり酸素原子は正四面体の中心部に位置し、2つの水素原子は4つの頂点のうちの2つに位置しています。“グーの手”が4つの頂点のうち2つを占めていますが、この非結合性軌道の手も、別の水分子を作る水素原子の反結合性軌道と相互作用したときには手を開き、弱い結合性の軌道を形成します。この結合を水素結合と呼びます。非結合性軌道の頂点と水素原子との間に起こる水素結合が、水分子同士の結合となります。

## 水の構造は1千億分の1秒

図 03-1  
水分子（モノマー）の構造

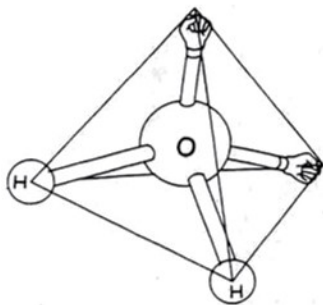
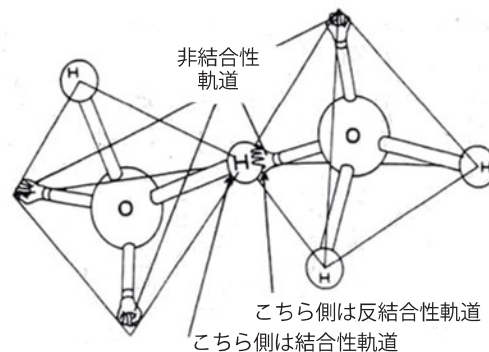


図 03-2  
水素結合と水分子の会合



全 武植 著「不老長寿の水を科学する」より

この結合を安定に保てるかどうかは、水の安全性を考えるうえで重要です。水分子の水素結合ではO-H-Oの連なりが直線状に並ぶときが最も安定し、この条件を前提として水分子の会合体の模型を組み立ててみますと、水分子6個が環状に連なったときの構造が、最も自然で安定的であると全博士は考えています。しかし、この構造はたえず壊され、作られるという離散集合を繰り返し、一時として同じではなく1千億分の1秒くらいの時間で変化しています。

もう1つ、水は五分子体、六分子体などさまざまな集合体が混在しています。ある状態では五分子体の存在確立が高く、また別の状態では六分子体が多いということです。例えば、ある瞬間に六員環構造水を示している水の比率を測定しますと、10度で全体の22%、0度では26%、さらに温度が下がるにつれて六分子水が増え、過冷却状態のマイナス30~40度ではほぼ100%が六員環構造水になるそうです。（過冷却状態とは液体を融点以下の温度に冷やしても、なお液体を保っている状態を指します。純粋水を静かに放置して徐々に温度を下げていきますと、温度がマイナスになっても水は氷になりません。）

このことから、水は低温になるほど六員環構造水で存在する水分子の比率が高いということが分かります。雪解け水はたんに温度の低い水ではなく、六員環構造水の存在比率の高い水といわれています。

雲の中は0℃以下と、とても寒く、水分子は「**過冷却**」の状態ではばらばらに漂っています（この状態はまだ気体）。

過冷却状態になると**水分子は最も安定した形の六員環構造**をとることで0℃以下でできる雪の結晶は六角形を呈することになります。



雪解け水を使うと植物性プランクトンの増殖率や緑色作物の収穫量の増大、鶏の産卵率の向上などがみられますが、これらの現象は、六員環構造水の存在比率の高い水は生理活性が高いことに由来すると全博士は主張しています。東北地方が気温では農業に適していないにもかかわらず、米など農作物の生産性や質が高いことは、雪解け水の六員環構造水に依存している可能性が大いに考えられるといわれています。

ここで重要なことは、植物性プランクトンの増殖率やその他の成長に六員環構造水が大きく影響するという事実は、飲み水も六員環構造水を多く含んだ水が体に良いということです。また、浸透圧の関係も六員環構造水の方がより効果的に皮膚に吸収されることを意味しており、化粧水などに使用する水についても、化粧品メーカーが構造研究を始めています。

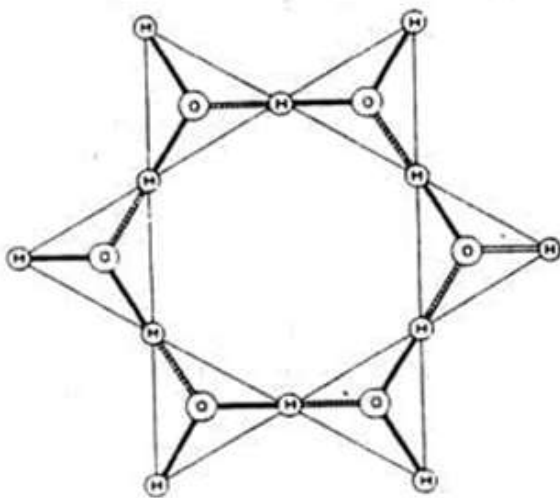
#### CONTENT

## 04 六員環構造水は不老長寿の妙薬

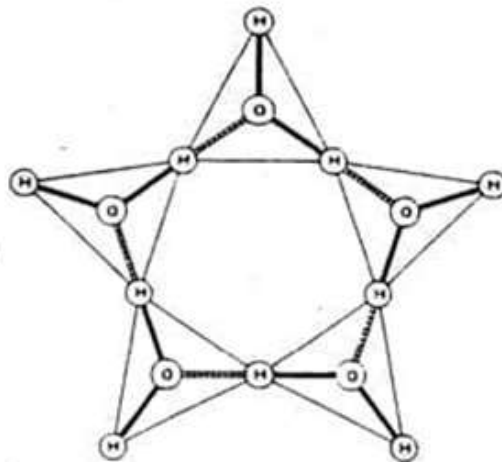
### 六員環構造水

全博士が提唱する六分子水と五分子水やその他の分子構造体とは実際に差があります。一例として比熱をとりあげてみますと、六分子水は五分子水よりも比熱が大きく、六分子水のほうがパワーが大きいと全博士が述べていますが、現実には五分子体の方が大きいのです。しかし、体内では六分子体の方が圧倒的に多く、五分子体では体内で働くことができませんので体内では六分子水は五分子水よりも比熱が大きく、六分子水のほうがパワーが大きいということなのだと思います。

(図 04-1)、六員環構造水



(図 04-1)、五員環構造水



全 武植 著「不老長寿の水を科学する」より

さらに酵素活性を調べた実験もあり、六分子水の存在比率の高い雪解け水と普通の水を、小麦の脱水素酵素の活性で比べると、普通の水に比べて雪解け水は明らかな酵素活性があるといえます。これは六員環構造水の存在比率の高い構造化された水は、細胞の生理活性を正常に保つ方向に働く可能性を示唆するものです。

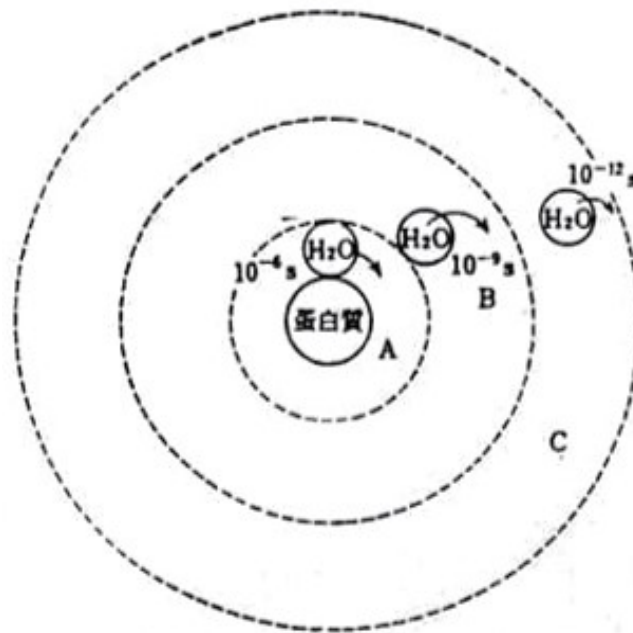
## 水分子の状態

体の60~70%が水であることから分かりますように、生体分子は水に取り囲まれているといってもよいでしょう。例えばタンパク質や核酸、多糖類といった生体高分子が生体内で安定な状態にあるのは、水の層に取り囲まれているからです。ここで、よく引用されるタンパク質のまわりの水の状態をみると、タンパク質のまわりの水分子の状態には少なくとも2つの異なった状態があります。1つはタンパク質にくっついている水分子（A層）で、その回転運動（一方向に回転している運動ではなく、でたらめに絶えず変化する運動）の速さは10のマイナス6乗秒で、もう1つはこの層の外側にある水分子（B層）で、水分子は10のマイナス9乗秒くらいの速さで回転運動をしています。図の中のC層は純水と同じ状態です。純水中の水分子の熱運動と比べてみますと、A層の水は100万分の1、B層の水でも1000分の1も運動が遅くなっています。

タンパク質が生体の中でアミノ酸から合成されて、丸まった形（三次構造）になると、それまでそのまわりをすごい勢いで飛び回っていた水分子が、いっせいにタンパク質に飛びついて、ほとんど瞬間的にタンパク質の表面を水の膜で覆ってしまいます。これがA層の水で、A層に接しているB層の水分子の運動はその影響を受けて、水分子は動きにくくなります。こうしてタンパク質は固い水の殻と、その外側の弾力性のある覆いによって囲まれているわけです。ところが、ここにカリウムイオンや水道水に多く含まれている塩素イオン、尿素などがあると、水の保護作用がくずれることがあります。尿素は食べ物のタンパク質が体内で分解されるときに生じるものですが、タンパク質水溶液に多量に溶かしますと、B層の水分子は尿素分子の作用によって運動の速さが10のマイナス9乗秒からマイナス12乗秒に増えます。そのためA層に対する水分子の衝突の頻度が増し、結果としてタンパク質分子は激しい運動にさらされ、もはや本来の三次構造を保つことができず、バラバラにほぐれてしまいます。さらに進むと、タンパク質の変性が起こってしまいます。

以上のことから尿素やカリウムイオン、塩素イオンが多量にあると、体の機能が維持できなくなることが、生体水の変化によっても理解できます。

図 04-3 タンパク質まわりの水の状態



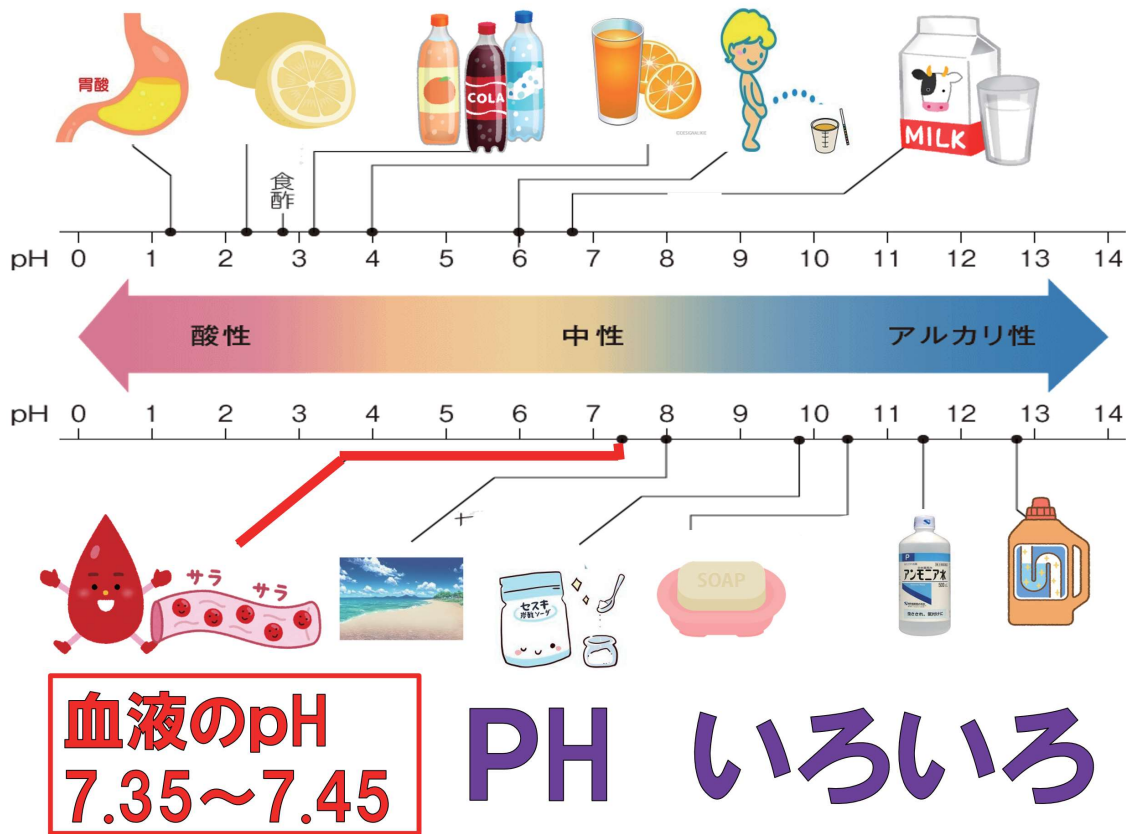
上平 恒 著「水とは何か」  
講談社ブルーバックスより

では、カルシウムイオンがあると、どうなるのか？この場合は尿素などがある場合とは逆に、A層の水もB層の水も運動が遅くなります。全博士はカルシウムイオンのように体積が小さく、その電荷が大きいイオンの場合、イオンの周囲の水の構造は強化される方向にあることから、カルシウムイオンのようなイオンを構造形成性イオンと呼んでいます。カリウムイオンや塩素イオンのように、イオンの周囲の水の構造を弱体化するイオンは、構造破壊性イオンというわけです。

アルカリイオン水には構造形成性イオンが多くなっています。このイオンが多くなると水分子の自由度が減少し動きにくくなるわけですが、これは六分子水が増加していることでもあるのです。

それでは、アルカリイオン水がいいのかと言いますと、pH9.5を超えるアルカリイオン水は避けた方がいいのです。動脈血と静脈血のpHは、それぞれの血液に含まれるガスの成分によって異なります。動脈血は酸素を受け取った血液で、酸素と結合した酸化ヘモグロビンが多く含まれています。一方、静脈血は組織からCO<sub>2</sub>を運ぶ血液で、還元ヘモグロビンが多く含まれています。

動脈血のpHの基準値はおおよそ7.35～7.45です。これは、純水がpH7（中性）であることから、動脈血中のpHはほんの少しのアルカリ性に傾いた状態で保たれています。一方、静脈血のpHは、動脈血に比べてCO<sub>2</sub>が放出される分、やや酸性に傾くので0.03～0.04低くなります。これは、静脈血は組織から不要になったCO<sub>2</sub>を運ぶため、pHが酸性に傾くのです。



# PH いろいろ

具体的な数値は患者の健康状態や病状により変動するため、医療専門家の指導に従って適切な評価や管理が必要です。

血液中のpHは厳しくコントロールされており、1.0狂っても体調を崩すものであり、アルカリ性が良いというのは1.0の範囲内の話であることにすぎません。むしろアルカリイオン水(pH9.5以上)を飲み続けることはあまり感心できることではないのです。

また、ガンや高血圧、糖尿病などに対して、カルシウムイオンや多糖体、ビタミンCが利用されるのも、これらが構造形成性であることから説明できるといわれています。カルシウムなどの働きも、そのものが持つ生体機能に対する化学的作用だけでなく、少なくともカルシウムイオンと水との物理的作用についても考えていかなければ、水の多面的な働きについて理解することはとうてい不可能であると思います。いずれにせよ、水は六分子水、つまり六員環構造水が、そのほかの構造水、クラスター水より体によいことは間違いのない事実なのです。



# 05 水は生命そのものだ

夏は大量に汗をかきます。そのために体内の水分が不足がちになり、次のような障害が起きることがあります。

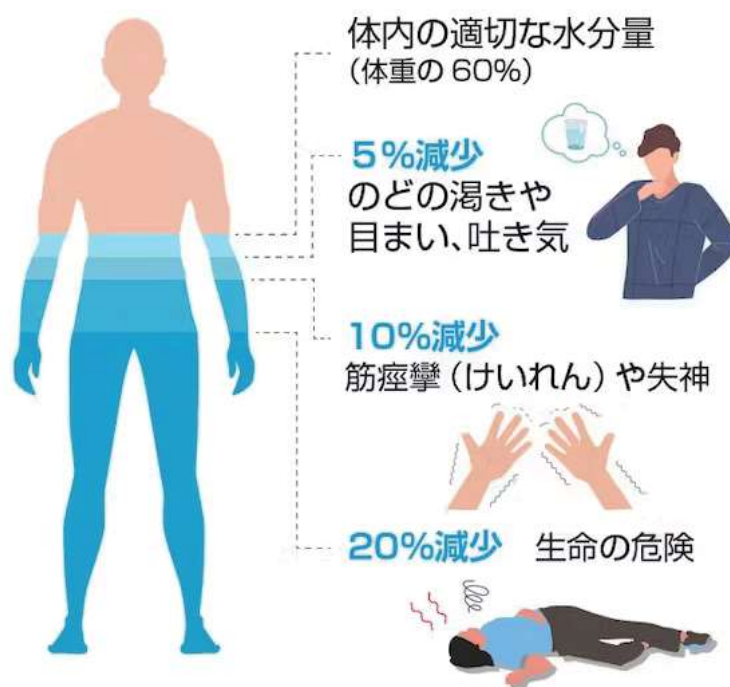
## 【脳梗塞】

近年、脳梗塞は冬より夏場が増えています。その理由として、血液の45%は血球成分でドロツとしており、夏の暑いときは睡眠中にコップ1～2杯の汗をかきます。そのうえ、呼気により水分が蒸発します。水分が不足して粘度が高まると血管が詰まりやすくなり、動脈硬化のある人では脳梗塞や心筋梗塞の危険が高くなるのです。また、血液の凝集能（固まりやすさ）は朝の6時頃から高まりはじめ、9～10時頃にピークになります。寝る前や朝起きぬけに水を補給することが効果的な予防法です。

寝る前に水を飲むと、夜中にトイレに起きるのが煩わしいという人がいますが、あまり水分を控えると水分不足で尿が濃縮され、これが膀胱を刺激してかえって尿意をもよおし、逆効果なのです。

では、なぜ高齢者に脳梗塞や心筋梗塞が多いのかといいますと、二十代では

## 水分不測の危険性



およそ70%は水で、新生児では実に80%を占めますが、加齢とともに水の割合は減少し、45歳では60%、70歳では43%と体液が減少し、高齢者には少しの水の消失でも血液が粘る結果になるのです。

水の生体内における分布状況は、約3分の2が細胞の中にあり、残りの3分の1のうち、4分の1は血漿として血管の中を流れており、あとの4分の3は血管の外にあり、間質液として細胞の間を満たしています。このように体の中に水が大量にあるのは、それだけ重要な働きをしているからであり、軽視することはできません。おもな水の働きは、栄養の運搬、老廃物の排泄、内部環境の恒常性の維持、体温の調整など、まさに生命活動そのものです。また、生体内の水はおたがいに交流しあって情報を交換しているともいわれています。このことについては、別の機会に述べます。また、冬の朝方に脳梗塞が多い理由に「体内静電気」があることも付け加えておきます。体内静電気を抜けば病気は怖くない（講談社新書）、はだしで大地に立てば病気が治る（マキノ出版）を参照

### 【痛風】

秋口になると痛風の発作が増えるといえます。これは血液中の尿酸値が高い高尿酸血症の人が、汗をかいて尿量が少なくなっても、涼しさのため水の補給をせずにいる結果、尿への尿酸の排泄が少なくなり、尿酸値が高くなるためです。汗をかき水を補わずにいる状態が夏場続くと、秋口に発作が起きる危険が高くなります。

### 【尿路結石】

尿量が少なくなると、結石の成分であるカルシウムやシュウ酸などの尿中の濃度が高くなり、腎臓、尿管、膀胱などに結石ができやすくなります。尿量が1日700ccの人は、1日1100ccの人にくらべ結石が約7倍もできやすいといわれています。尿路結石は再発率が高いので、結石ができたことのある人、高尿酸血症の人などは夏でも尿量が1日2000ccくらい出るように水分を補給してください。

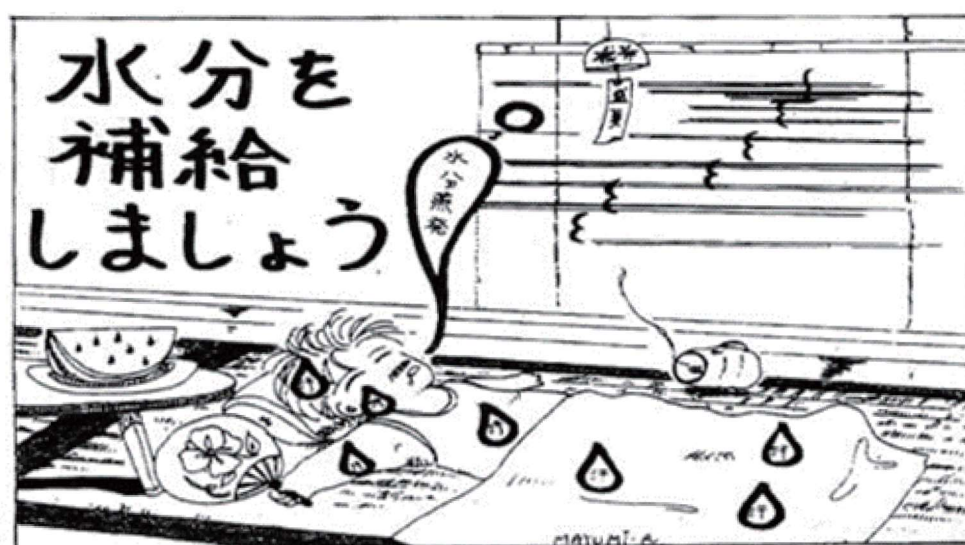
### 【膀胱炎】

これも尿量が減って尿路の細菌感染が起きやすくなり、それに加えて暑さのために蒸れることも原因していると考えられます。そのために夏場に増えるのです。予防と治療のために水分補給が欠かせないのです。また、ダイエット中に水分をとると太るといって水を控える人が多いようですが、かえって有害です。体内の脂肪やタンパク質が消費されて生じるケトン体や尿酸の血中濃度が高まるからです。とくにタンパク質の消費による糖新生は窒素を放出するので腎臓に負担がかかります。夏にダイエットする人はとくに十分な水が必要なのです。汗が粒になるくらいの中程度の発汗では、汗1リットルあたり2.4gの電解質（ミネラル類）が

流れるような汗ではそれ以上の電解質が失われていきます。とくにビタミンではCやB1が多く消費されますので、注意してください。夏に水分をたっぷり含んだスイカ、トマトなど果菜類に天然の塩を少しふりかけて食べるのは、自然な水分やミネラルの補給法です。さらによいのは、六分子体（六分子水）の多く含まれた水を飲むことです。しかし現段階では雪解け水が六分子体を多く含んでいるといわれているものの、それでも20数%にしか過ぎません。人工的にpH7.4の弱アルカリ性近くで、六分子体を多く含む水を世界中の水の学者が研究しています。こうした構造水は吸収率がよく脳梗塞、心筋梗塞、痛風、尿路結石、膀胱炎、皮膚病、肥満、ひいてはガンなどの悪性新生物などのような疾病に対して、自己治癒力を著しく高めるといわれております。また、水分補給では、時間をおいてチビチビと水を飲むのがよく、一度にガブッと飲むと細胞内に取り込まれる率が相対的に低くなり、すぐに尿として出る率が高くなります。水分を効率よく体内にとどめておくには、小刻みに飲むのがよいのです。

国立公衆衛生院が過去19年間にわたって全国の死亡者と気温の関係を分析した結果、気温が33度を越すと高齢者の死亡が増加するといえます。とくに65歳以上の老人で、心臓や脳血管などの循環器障害による死亡が増えており、これは高温による免疫力の低下、発汗にともなう脱水、血液循環量の減少が原因といわれております。こういう高齢者の方にも六分子体の多く含んだ水は有効です。つまり、通常の水は10-12乗秒（1ピコ）で離散集合を行っていますが、六分子体の水は最も安定しており、1ピコより離散集合のスピードが遅く、胃や腸の壁に密着しやすく吸収率が増し、生体内に吸収されるとその移動スピードは6倍に増すといわれます。（真意の程は定かではありません）

図 05-1 水は生命そのものだ



# 06 六員環構造水はテープレコーダーだ

生体内の水はお互いに交流しあって情報を交換している我々の生体機能の特色は、その恒常性機能（ホメオステシス）にあります。つまり外部からの温度、湿度、光量などの変化による刺激があっても、一定の範囲で機能し生体全体の働きを調節しようとしします。このホメオステシスを確保するにあたって、細胞内外の水はある一定の規則だった構造をとることで、生体細胞を種々の刺激、攪乱から保護する役割を果たしているといわれます。これが先に述べました「生体内の水はお互いに交流しあって情報を交換している」ということです。

六員環構造水は壊れにくい水、エネルギー容量の大きい水、パワーの大きい水であり、これは六員環構造水が外部からの刺激に対して安定的であることを意味します。したがって、細胞内外の水は六員環構造水の存在比率が高ければ、それだけホメオステシスが高まることとなります。逆に、細胞内外の水構造が何らかの原因でくずされたり、弱まったりすると、細胞は外部からの刺激に対して過剰反応し、ついには細胞そのものの機能にも異常をきたします。六員環構造水をなした水こそが生命活動のキーポイントであるといえます。このような水は自由状態において無秩序な水に比べても、6倍も早く生体内を移動し効率良くさまざまな物質を運搬します。また、赤外線、微弱磁気などを介した分子レベルの情報伝達、エネルギー変換、増幅、情報保持において主要な媒体であることが提唱され始めています。正常細胞とガンなどの腫瘍細胞の比較実験でも、腫瘍細胞の周囲の水分子は、正常細胞の周囲の水分子に比べ乱雑で動きが激しいことが確認されています。このことは、腫瘍細胞が外部からの温度変化などの刺激に対して弱いことを意味しています。この弱点を利用したのが、ガンの温熱療法です。またガンに対してはビタミンCの大量療法というのがありますが、全博士の実験によると、ビタミンCが水分子に作用して六員環構造水を増やし、その結果として免疫機能を高めている可能性が強いとしています。ビタミンCが生体細胞の機能に直接的に働くのではなく、大量に摂取してもその多くは尿中に排出されますが、水の構造を生体にとってより相性のよい六員環構造水に変化させることで間接的に働き、免疫機能を高める可能性が強いというのです。

また、別の観点から水には無限大の意識を伝達する能力があり、一種のテープレコーダーとしての働きがあるということが提唱されてきました。例えばサボテンにモーツァルトを聞かせると喜ぶ、リンゴに音楽を聞かせると実の成り方が良くなる

などです。サケやアユは必ず自分が産み落とされた川に戻って来るといわれていますが、なぜ可能なのでしょうか。魚の卵は99%が水です。親から産み落とされた卵が初めて接する川の水は、その土地特有の振動パターン（波動）をもっていて、卵の中の水はその波動に共鳴して振動パターンを記憶するという説が有力になっています。したがって、自分が生まれた川の水が発し続ける波動（電磁波）に共振させれば、どんなに遠いところからでも簡単に故郷を探し出して戻ってくる事ができるというのです。

では、ここでいう波動とは何かといいますと、五分子体、六分子体などの種々の水分子の組み合わせによるものと考えられます。こうした例からも分かりますように、水は分子体が出す固有の波動を介して情報を伝えたりコピーしたりする特性をもっていると考えられます。そしてこの波動にも、生物にとって良いものと悪いものがあるようです。水は多かれ少なかれ、溶かせられないものはない溶媒といわれ、大都市はもちろん、自然環境が良いとされる土地の水でさえ100～200種類の化学物質が溶け込んでいます。このような水を飲料水や産湯として使用すると、新生児の細胞は多くの化学物質が発する波動と共鳴し、好ましくない波動を記憶してしまう可能性もあります。そして、いったん悪い波動を記憶した細胞は、化学物質と出会うとその波動に共振し、化学物質を積極的に取り込むようになるともいわれています。その結果、体質・性格などに異常をきたすことになり、アレルギーもこうした理由から起こってくる可能性を否定できません。波動のメカニズムは水の構造に関係しているのではないか、もしくは物質そのものにあるのか議論が別れるところですが、水分子は細かく振動しています。その組み合わせは無数の種類があるといえます。

また、米国のK.Liu (Henan Polytechnic University) らによってNATURE誌に発表 (Vol 381 6 JUNE 1996年) されました。それによると、クラスターサイズが六分子構造をとっている水が最も安定しており、その構造はカゴ状を呈しており、 $H_2O$ が6個集まったのが最も安定しているということを結論づけています。つまり、クラスターの構造により同じ水でも力が違うのです。また、K.Liuらは次頁の図 (A) の様になっていると実験結果を述べています。

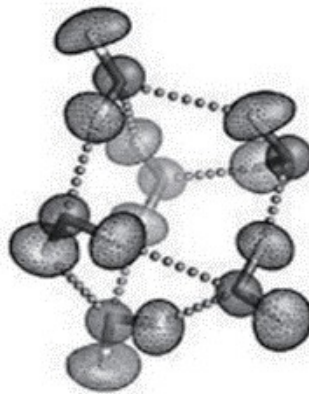
また、もう一件はSAYKALLY Richard J. (Univ. California at Berkeley, CA, USA) らは六分子体の水、つまり「水の6個の集まりは多三次元水素結合構造の最小の代表」として特に大切であると述べています。

またRichard J. らは次頁の図 (B) 、次頁の図 (C) の様になっていると実験結果を述べています (SCIENCE誌) 。

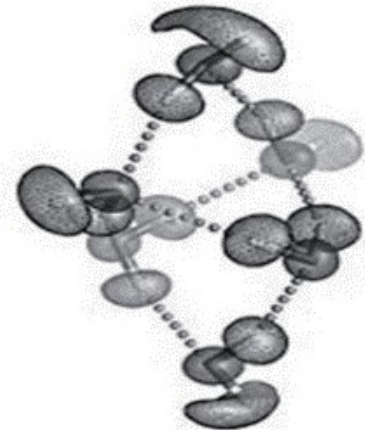
(図 06-A)



(図 06-B)



(図 06-C)



また、應義塾大学 医学部 薬理学教室の安井正人らは水 ( $\text{H}_2\text{O}$ ) が生物にとって最も重要な分子の一つであり、実際、MRI (磁気共鳴画像) は体内における水分子の動態を反映してその水構造の違いから癌を診断している。

MRIは脳の形態・機能解析にも用いられる。しかしながら、がん細胞や脳組織における水挙動の生物学的意義は未だ不明な点が多く残されており生体内水構造に関する研究は大変遅れている。水は研究対象になりにくいことや観測技術が伴わなかったことがその一因と思われる。水分子動態として細胞膜水拡散や細胞機能として細胞内外の自由水、構造水の解析が必要で、水の構造は生命維持に不可欠と考えられ、これからの研究が待たれるとしています。

つまり、K.Liuら、やRichard Jら、は水の六つの水分子の構造化が安定しており、安井正人らは水の水分子の六分子の構造化が生命維持に必要であろうと述べています。つまり、六員環構造水は人体にはとても有効的な水とされていますが、科学的な根拠はまだ不十分であり、健康効果については確証が得られていませんのでその点にご留意ください。

全博士の提唱する六角水 (六員環構造水) とは構造形態は違いますが、同じことを述べています。人体にはかりしれない影響を及ぼす水。だからこそ、次の世代を担う子供達には「三つ子の魂、百までも」の格言通り、誕生直後の産湯から3歳頃までのいちばん大切な時に良質で清冽な水、六分子体つまり六員環構造水の多い水で健康にすごせる体に育てあげたいものです。

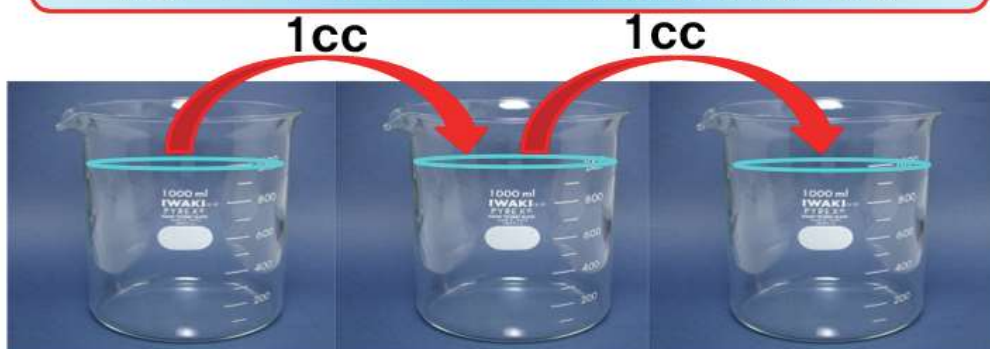
# 07 六員環構造水は最も高価な医薬品

あなたは「水が薬の効果を記憶して同じ効果を持つ」という不可思議なことが信じられますか。このことを証明する論文が「ネイチャー」に掲載（333号、1988年6月号）されました。

その研究を行ったのはベンベニシト博士（仏）らで「高度希釈抗 I g E 抗血清に誘発された人好塩基球の脱顆粒」というタイトルの論文です。その内容は、通常、白血球の中の好塩基球表面の I g E（アレルギー性鼻炎やアトピー性皮膚炎の発症因子）と特異的に反応する抗 I g E 分子が出会うと、好塩基球の脱顆粒という現象が起き、内部からヒスタミンを放出するというものです。

当然のことながら、ただの蒸留水ではこのような現象は起きませんが、蒸留水に I g E を溶かし込み I g E 水を作り、蒸留水で10の60乗倍に希釈します。最後には理論上でも、現実的にも I g E は1分子も存在しない、ただの蒸留水になり、I g E の効果はないはずですが、その水には初めに溶かした I g E の効果があり、好塩基球が脱顆粒を起こすのです。

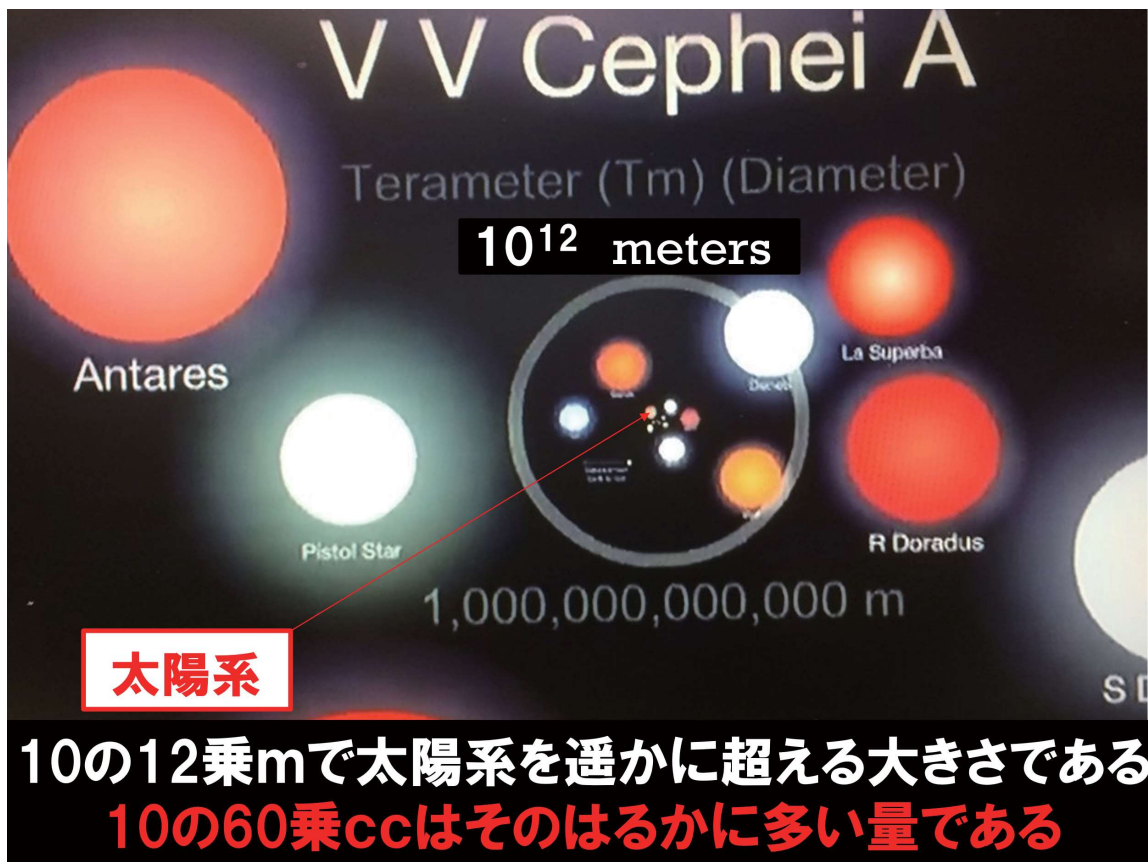
## IgE の10の60乗倍希釈



水1リットルにIgE を1cc入れ攪拌後、  
そこから1ccを取り、水999ccに入れ攪拌し、  
そこから1ccとり水999ccに入れ攪拌し、  
・・・を60回繰り返す、

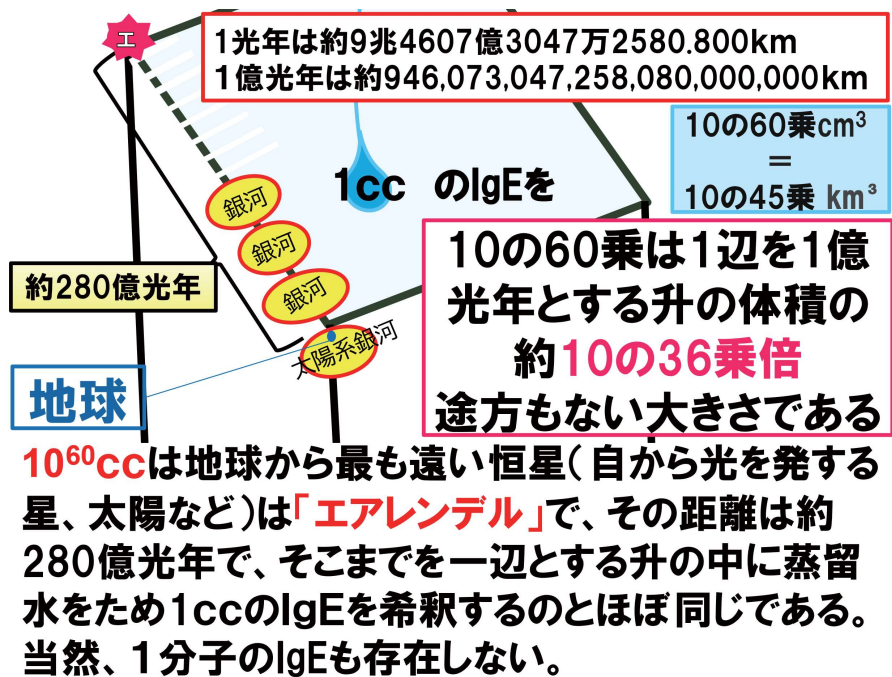
この実験は4カ国6研究機関で立証されていたにもかかわらず、あまりにも唐突な結果に、世界中の学者に大反響を与え、この論文をめぐる、賛否両論が繰り広げられました。幾度となく追加実験が行われた結果、再現性が証明され、この考えに反対の学者たちも最後には「まったく信じがたいことで、何の物理学的根拠もない」とのコメントを付け掲載されたのですが、あまりの反発に「ネイチャー」がこの号を回収する騒ぎになったほどです。

しかし、これは「水は情報保持能力を持つ」という証明であり事実なのだと思います。水の不可思議を提起した歴史的な論文であり、今日流行語にもなっている「波動」を産んだ元の論文でもあります。多くの科学者にとってIgE分子が存在しないにもかかわらず、あたかもIgE分子が存在するかのごとく反応が起こるといふ、この実験結果はどう受け入れがたいもので、水が情報保持能力を持つことを示唆する、このような研究に対しては、現在でも多くの科学者が否定的な態度を示しています。その半面、水の情報保持能力を積極的に応用しようとする研究は、世界各国で着実に実を結びつつありますが、当然反対意見が多いことも事実です。



その量とはどれぐらいかというと





ご承知のとおり、水は酸素原子と水素原子よりなり、酸素原子の方が水素原子よりも電気陰性度が大きく、電子を引きつけやすいために大きな極性を持ち、とくにイオン結合性の塩や極性の大きな物質をよく溶かします。この極性が水素結合という弱い結合をしてクラスターを形成するのです。そして、この集団のある種の組み合わせで蒸留水が I g E 水と同じ働きをした可能性が高いと考えられます。この論文は、極微量の薬で治療し効果をあげるホメオパシー治療を推奨する人々の考え方に類似したものであるといえます。また、水のクラスター構造の働きについて生化学的な研究が進んできた背景には、エネルギー伝達という側面から生命現象の解明が進んできたことが指摘できます。従来の化学が分子構造から物質の性質を説明しようとしてきたのに対し、この生化学の新しい流れでは、共鳴パターンとエネルギー伝達という側面から生命現象を説明しようというものです。すでに、ロナルド・J・ウェINSTOCK氏（米国）がMRA（共鳴磁場分析器）を発明し、人間のそれぞれの器官の細胞はどのような共鳴パターンを持っているのかということも特定されてきています。MRAを用いて特定の目的に対して対応する共鳴パターンを共鳴磁場水に転写、保持させ、それを飲用することによって自己治癒能力を著しく高めることが提唱されています。また、細胞の異常はこの共鳴パターンの異常として捕捉することができ、こうした状態に対して微弱電流、マイクロ波、磁気、赤外線などを媒介にして、正常な共鳴パターンに戻し自己治癒能力を高める研究も進められています。

米国やフランス、カナダなど各国で共鳴磁場水を情報キャリアとして用いることで治癒したり、薬品の代わりに使用するための本格的な研究が進められ特にメキシコでは医薬品としても認可されるに至っているようです。

水の測定は現代科学のなかで最も遅れた分野ですが、「水の波動」とはつまるところ個々のクラスター構造が発する「水の振動パターンであり電磁波」といえます。そして、生体にとって最も良い波長の電磁波を発生することのできるのが、六員環構造と考えられます。

クラスターサイズの小さな水、いわゆるパイウォーターから「構造化された水」つまり六分子構造水の時代が訪れたといっても過言ではないかも知れません。では、どのようにすれば六分子体の水ができるのか、世界各国で研究がなされリー博士、1997年の時点において、全博士をはじめ数人の学者が作成方法を開発していますが、現時点では作成するのに必要な機械が高価なこと、反応に長い時間が必要であり、操作が複雑でコスト高になるため、六員環構造水は1リットルで数万円が相場で、なかには数十万円するものもあるくらいです。最初、私が考えた方法でも水の電気分解、レーザー照射、放射線照射、高電圧照射など制作に危険で高価な装置が必要でしたが、2023年、現在は少し進歩し危険はなくなり、高価な機材も少なく済むようになり安価で製造可能となりました。2024年現在、ここに至るまでに実験開始から48年を要しました。

## CONTENT

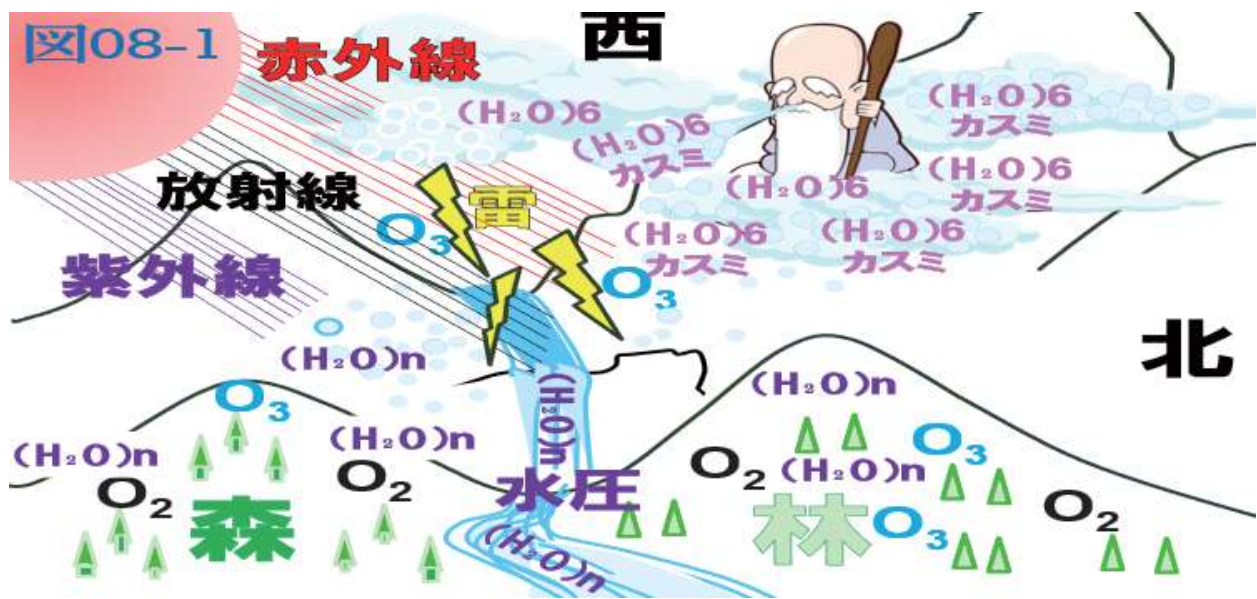
# 08 六員環構造水は生き物だ

仙人は霞を食べて、不老長寿だ「仙人は霞を食べて、不老長寿だ」との言い伝えがあります。

当然、こんなことはあり得ない話ですが、しかし何の根拠もなくこのような伝説が今日まで受け継がれるのでしょうか。さまざまな条件が整った時、水が構造化され人が飲んだり吸気で体内に取り込んでいた霞こそ、六員環構造水だったと考えたらどうでしょうか。

米国のリー・H・ロレンツェン博士は一定の温度、圧力、赤外線、レーザーなど18の行程を経て構造水を製作することに成功しています。つまり、このことは自然界においても場所、太陽光線、温度、湿度、磁場、水の落下速度、気圧などのある条件がそろった時に、六員環構造水の霞ができる可能性を示唆するものです。

人間は老化に伴って水分が減少していきますが、水分全体の減少率以上に六員環構造水の比率がより一層減っていくことが分かっています。



老化の過程は秩序だったクラスター構造を失うことであり、また細胞レベルの機能低下や病変においても同様なことが起きています。そこでリー博士は六員環構造水を補うだけで、身体のさまざまな機能回復を促すことができるという、全博士と同じ仮説を立てました。最初のうちは賛同者がなく、医学界などから一笑に付されました。しかし、その後幾多にわたる検証の結果、この考えの正当性が実証され、しかもそれは副作用がないばかりか、関節炎、壊疽、やけど、糖尿病、神経症、甲状腺腫、慢性疲労症候群、結腸炎、刺激性大腸不全、白血病、白内障、皮膚疾患、狭心症、癌など、実に幅広く多くの疾病に対して改善効果を示しているのです。これらの疾病はそれぞれに原因も違えば、問題を起こしている器官やその状態も異なります。しかし、共通しているのは六員環構造水を補うことによって細胞の情報・伝達を改善し、自己治癒能力が飛躍的に高まったということです。また米国では、知能は正常なのに学習や自制ができない「活動過多症」と呼ばれる子供達、100人以上に六員環構造水を与える実験が行われました。その結果、2カ月間のうちに薬物を使わなくても通常の学校生活ができるようになり、なおかつIQも上昇していることが確認されました。さまざまなケースで数多くの事例を通じて「六員環構造水の偉大な事実」は実証されてきたのです。

一方、ミネラルのバランスも健康を考えるうえで重要です。例えば脳卒中の死亡率の高いのは秋田、岩手、山形などで、低いのは徳島、愛媛、兵庫です。つまり雪解け水に多い六員環構造水も、ナトリウムの取り過ぎやミネラルバランスが悪ければ効果は半減するというわけです。大阪大学の橋本奨博士の報告では、霞が多い奥丹波の天内山を源流とする加古川や夢前川はミネラルバランスが良く、

脳卒中になりにくいそうです。体にはミネラルバランスが良く、弱アルカリ性のpH7.4付近の六員環構造水が非常に良いということになります。

それでは実際に六員環構造水を使用すると、どのような変化が起きるのかを列挙しますと、

(1)肌につける＝肌がつやつやする。ニキビや湿疹、ジンマシン、かゆみが軽減する。シミ、そばかすが薄くなる。肌がみずみずしく若返る。

(2)目にさす＝かゆみ、充血が改善する。

(3)飲用する＝体重の減少、体脂肪率の低下、便通の改善、各臓器の機能向上などです。

アレルギーのある人は、発赤が出てから改善する場合があります。便通でその反応を見ますと、体調の悪い人は、まず初めに下痢の症状が起こり、次に黒褐色の軟便、さらに乳幼児が始めにするようにグリーン色の便（万年便）がでます。

この時点から徐々に体調が良くなるとともに、下痢と便秘の状態を繰り返す場合が多いようで、しだいに黄金色の柔らかい便へ順番に改善されていきます。

健康な人は便秘、軟便、下痢の状態を何度か繰り返し、万年便が出た後、黄金色の柔らかい便が出る場合が多いようです。なぜ、このような反応が起こるかといいますと、例えば体重50kgの人の70%が水としますと、35kgが水になります。人体は全身の水を抜き取って、新しい水と換えることはできません。そこで、より多くの六員環構造水が必要になります。1ℓのビーカーに墨を入れて少しずつ水を注いでいくと、透明な水になるにはその10倍以上の10ℓ以上が必要になります。六員環構造水を飲むことで、少しずつ体内に取り入れ腎臓でこしていきます。この時必要な六員環構造水も尿や汗などで多少排泄されているので、50kgの人は少なくとも350kg以上の六員環構造水が必要ということになります。六員環構造水を1日1ℓ摂取したとして、1年間で概ね体液は入れ換わるわけです。初めにも述べましたが、全博士やリー博士が提唱されたように、六員環構造水は飲むことにより健康になるし、およそあらゆる病気を改善する力を秘めている水です。また、その他、人以外で水を使用したときの効果として

(1)死にかけていた金魚が元気になった

(2)ペットの犬の白内障が良くなった

(3)歩けなくなった猫が歩ける

(4)死にかけていた猫が息を吹き返した

(5)犬が11匹の子を産んだ

(6)犬、猫の毛並みが良くなった

(7)植物の発芽が2日早かった

(8)切り花が長持ちするようになった

(9)観葉植物が青々とし出した、などの報告がなされています

更に人間における効果として

(1)便秘が良くなった

(2)風邪を引きにくくなった

(3)飲用前に比べて、よく小便が出るようになった

(4)二日酔いしにくくなった

(5)肝臓の数値が良くなった

(6)ぜんそくが軽減した

(7)お酒に酔いにくくなった

(8)糖尿病が軽減した

(9)体調が良くなった

(10)膀胱炎が改善した

(11)腎機能（クレアチニン数）が良くなった

(12)肌の調子が良くなった、などが報告されています

## CONTENT

# 09 六員環構造水は万能薬

水に関して何が真実であるが最終的な結論はまだ出ていたわけではありません。しかし、いままでに多かった質問に私なりにお答えしていきます。波動水、情報水、情報磁場水、気功水、アルカリイオン水、還元水、磁場水、電子水、超音波水、 $\pi$ ウォーター、一量体水、F F C水（二価三価鉄塩水）、六員環構造水について述べます。

おおむね波動水、情報水、情報磁場水、気功水は方法は異なりますが、ほぼ同じものと考えてよいでしょう。米国のロナルド・J・ウェインストック氏がMRA（共鳴磁場分析器）を発明し、人間のそれぞれの器官の細胞はどのような共鳴パターンを持っているのか特定されてきています。MRAを用いて特定の目的に対して対応する共鳴パターンを共鳴磁場水に転写、保持させてそれを飲むことによって、自己治癒能力を高めるのを目的としているようです。しかし、MRAはサトルエネルギー学会が機械を分解して回路を調べたところ、共鳴パターンではなく電圧差であることが判明いたしました。気功水は気を最も吸収し保持する水といわれ気功士が気を入れます。しかし、今のところ根拠は不明ですが効果があ

った例が報告されています。

アルカリイオン水はpHが7.0以上のアルカリ性を示す水で、おおむねpH9以上あるため胃液を薄めたり、また素通りしたアルカリイオン水が腸の細菌バランスを崩す可能性があり、pH7.4から8.0以内のアルカリイオン水にして飲むのがよいでしょう。我々の血液のpHは7.3か7.4に厳しくコントロールされており、0.1狂っても死に至らしめるものであり、アルカリ性が良いというのは、あくまで0.1の範囲内での話です。pH9以上のアルカリイオン水を飲み続けることはあまり感心できることではありません。還元水は酸化還元電位がマイナスの水です。それに加えてpHが7.3から8.0の弱アルカリ性であれば、血液の恒常性の維持と活性酸素の除去に大いに役立つ良い水だと思います。

磁場水、電子水、超音波水、 $\pi$ ウォーター、一量体水は物理的に水のクラスターサイズを小さくした水といえます。F F C水は化学的にクラスターを小さくした水といえます。とくにF F C水について多くの質問が寄せられましたので、少し触れておきます。考案されたのは名古屋大学農学部の山下昭治博士で、ある特殊な方法で二価三価鉄塩を超微量溶解させ水のクラスターを小さくした水です。確かに植物において成長が良くなるなどの良い効果が認められます。しかし同じ土地にネギ、ゴマ、ニンジン、カボチャ、トマトなどの植物を栽培しても、それぞれ固有のミネラルやビタミン栄養素の含有量になります。つまり、植物には、毛根の先に自己に必要な栄養分やミネラルを摂取する情報収集能力があるということです。

人間の胃や腸にはそれを選別できる能力はなく、分子量が小さければ何でも吸収します。これは大きな違いで、動物と植物を同じレベルで考えてはいけないことを示唆しています。また、二価三価鉄は酸化と還元が同時に存在する不可思議な現象で、太古の地球に存在したともいわれますが、本来自然に存在することが難しいはずで、さらに、F F C水をはじめ一量体水、磁場水、電子水、超音波水、 $\pi$ ウォーターなどの水のクラスターサイズが小さすぎる水は、集散離合のスピードが増し遺伝子レベルの傷害を引き起こす可能性は否定できません。F F C水は元々農業に役立てるために考案されたもので、人体が摂取して植物と同じような良い結果が得られると考えるのは早計過ぎるかも知れません。

(注)  $\pi$  (パイ) ウォーターとは、二価三価鉄塩を超微量に含んだ水のこと、生命を支える情報を伝達する役割を持つとされる水です。 $\pi$ ウォーターの特徴は、水素原子の交換速度が速く、水分子が活性力を持っていることとされています。山下博士は、 $\pi$ ウォーターが人々の健康や環境に貢献できると発表し、結局、山下博士は名古屋大学を辞めることになりました。山下博士の研究は、今でも議論的になっています。しかし、彼の研究は、水や生命に関する新しい視点を提供したという点では、評価されるべきで、彼は自分の信念に従って研究を続けた勇気ある素晴らしい学者だと思います。

六員環構造水は、韓国科学技術院教授の全武植博士の考えを要約しますと、この水を飲むことにより健康になるし、およそあらゆる病気を改善する力を秘めている可能性がある」と結論しています。

水の分子間構造はH<sub>2</sub>O分子が多く集まって、ある規則のもとに一定の関係を保ったグループが集合しています。これはあたかもH<sub>2</sub>Oがブドウの房状に集まって見えるのでクラスターと呼びます。つまり (H<sub>2</sub>O)<sub>n</sub> という特定の構造を有する会合体となっていることです。磁場水やF F C水などは (H<sub>2</sub>O)<sub>1</sub> から (H<sub>2</sub>O)<sub>4</sub> の状態と考えられます。とくに水分子が6個集合したもの (H<sub>2</sub>O)<sub>6</sub> を六分子水と呼びます。

水分子6個が環状に連なったときの構造がもっとも自然で安定的であると全博士は考えられています。特に六個の水分子が環状構造をとる水を六員環構造水といい、その特徴として、個人によって体内の六員環構造水保有量で反応が異なると考えられますが、飲用し始めますと、約1日から7日で下痢をしたり、反対に便秘をしたり、軟便になったり、おならがやたらと出たり、グリーン色の宿便が出たりしながら普通の便になっていき体調が良くなっていきます。人によっては半年以上かかることもあります。六員環構造水以外の水ではそのような変化は起こりませんし、一般的には宿便を出すためには1～3カ月の断食が必要といわれます。また、宿便を探すためにファイバースコープで肛門から覗いても宿便が診られません。宿便の正体は大腸にあるのではないのです。赤血球にはポルフィリン環の真ん中に鉄のあるヘモグロビン色素があり赤く見えますが、このヘモグロビン中の鉄が何らかの誤操作によりマグネシウムと置き替わり、グリーン色のクロロフィルに、銅と入れ替わりブルー色のヘモシアニンに変化し血液とともに流れており、これが体調を崩す大きな原因の1つだと私は考えています。つまり、六員環構造水はこのクロロフィルやヘモシアニンを体外に排泄する作用がある可能性があるのです。構造水を飲んで体調が良くなったといわれる人の多くは、多かれ少なかれグリーン色（ブルーのヘモシアニンは量が少なく色も薄いのでグリーン色に打ち消されます）の宿便が出てきます。ミネラルバランスがよく、還元電位の低い六員環構造水を飲用されることをお勧めします。

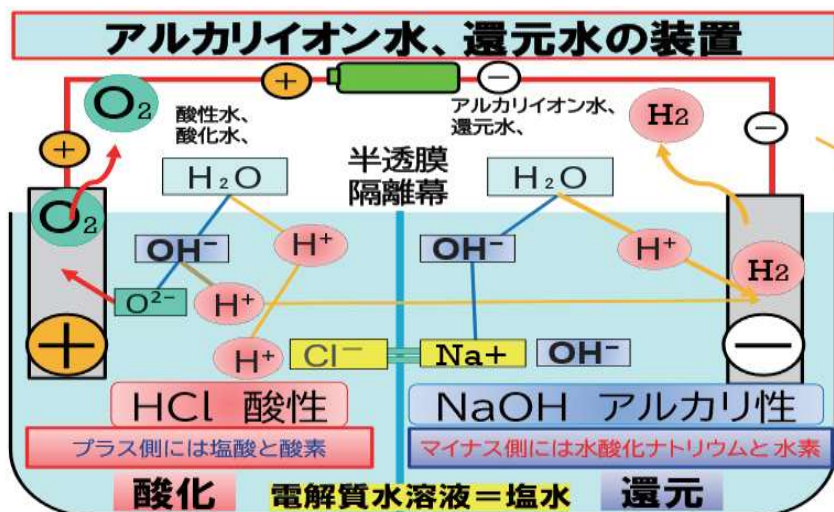
重ねて最後に、どこかのわけの分からぬ、根拠のない、靈感まがいのような高額な値段の付いた水（500ccで500円～数万円する水）もあるようですが、くれぐれも詐欺にご注意してください。

特に博士を取得していない人間が考えた水は殆ど偽物と考えて間違いありません。ただ、ご高齢の学者（博士）が名前貸しをする場合がありますので70歳を過ぎた博士も信じない方が良いでしょう。

# 10 アルカリイオン水と還元水

アルカリイオン水と還元水は、基本的には同じものです。どちらも水を電気分解して、アルカリ性で水素を含んだ水を生成します。その時に食塩水（塩化ナトリウム）を使うと、水酸化ナトリウムが塩化カリウムを使うと水酸化カリウムがアルカリ側にできてきます。

還元水は電極枚数を増やすことで、水素分子を多く含む水を生成します。そのため、還元電位が低く、水の分子が小さくなります。還元水も食塩水を使うと、水酸化ナトリウムが、塩化カリウムを使うと水酸化カリウムできますが、アルカリイオン水よりも強いアルカリ性を示します。つまり、還元水は水酸化ナトリウム、水酸化カリウムの濃いアルカリ水ができるということなので要注意です。



また、電子水は、水にマイナスの電子を供給することによりできた、電子量の多い水です。弱アルカリ性の電子水を飲むことによって、体中の活性酸素を除去してバランスの良い体に保つようです。しかし、電子水の効果が続く時間については定かではなく数分ではないかと思われ、あまり実用的ではありません。

次に水素水についてですが、水素水の有効時間は水素水サーバーで作った水素水をコップに入れた場合は3時間で水素濃度が半減するようです。アルミパウチ容器に入った水素水を開封した場合は1日以内に飲むと水素濃度が約90%以上保たれるようですが、ペットボトルでは2日ほどで半減すると言われます。

水素は非常に抜けやすい物質なので、水素水を飲むときはなるべく早く飲むことがおすすめです。





著者 堀 泰典(ほり・やすのり)

1956年三重県生まれ  
岐阜歯科大学歯学部歯学科卒業。  
歯科医時代には、筋肉の位置異常による反射や筋肉を緩めることによる顎関節症の治療で注目される。  
独自の理論と方法で難病の治療に取り組み、  
奇跡的と言われる治療結果を数多く出してきた。  
現在、多くの人たちがより健康になるための研究開発に取り組んでいる。

1997年	医学博士	昭和大学医学部	第一解剖
2005年	歯学博士	明海大学歯学部	口腔生理
2007年	薬学博士	昭和大学薬学部	毒物学

2000年～	ドクター・スリー医科学研究所	所長
2009年～2015年	昭和大学医学部	第一解剖学教室 客員教授
2011年～	島根県奥出雲町	初代最高名誉顧問
2013年～	温泉学会	理事
2014年～2023年	島根県雲南市	初代特別名誉顧問
2019年～	昭和大学薬学部	毒物学教室 客員教授
2020年～2022年	国際NGO 国連支援交流協会	名誉顧問
2023年～	国際NGO 国連支援交流協会	最高顧問

著書：体内静電気を抜けば病気は怖くない	講談社	新書	単著
はだして大地に立てば病気が治る	マキノ出版		単著
最後は免疫力があなたを救う	扶桑社	新書	共著
寝たきり、認知症に一生ならない101のワザ	主婦の友		分筆
高血圧を自力で治す 最強辞典	マキノ出版		分筆



著者 堀 元英 (ほり・もとひで)

1981年三重県生まれ

川崎医科大学医学科卒業。

2013年 医学博士 京都大学医学部大学院卒業

2016年 薬学博士 昭和大学薬学部 特別研究生卒業

2017年 歯学博士 東北大学歯学部大学院卒業

2016年 東北大学大学院 非常勤講師

2018年 温泉学会理事

2019年 三重県警察医

2023年 国連支援交流協会 医療特別顧問

### 資格

- ◆日本整形外科学会認定 整形外科専門医
- ◆厚生労働省 死体解剖資格
- ◆認定スポーツ医
- ◆日本医師会 健康スポーツ医
- ◆認定脊椎脊髄病医
- ◆厚生労働省 臨床研修指導医
- ◆厚生労働省 緩和ケア研修修了
- ◆日本骨粗鬆症学会 骨粗鬆症認定医
- ◆日本救急医学会認定ICLSコース修了
- ◆日本抗菌化学療法学会 抗菌化学療法認定医
- ◆認定運動器リハビリテーション医師
- ◆身体障害者福祉法指定医 (肢体不自由)
- ◆日本スポーツ協会公認 スポーツドクター
- ◆認定リウマチ医
- ◆ロコモアドバイザー
- ◆日本医師会認定 産業医
- ◆日本医師会 ACLS研修修了
- ◆日本リウマチ財団 リウマチ登録医
- ◆難病指定医 (整形外科)

### 特許

- 2007年 特許 第4036295号 人体に塗布、付着させる組成物
- 2010年 特許 第4443201号 身体装着用健康用品
- 2011年 特許 第4705533号 体幹重力軸ベッドの特許取得
- 2017年 特許 第6161099号 イットリウムを含むミネラルを用いた  
安心安全な保存料を取得
- 2023年 六員環構造水の制作の方法の特許出願中

四日市泊駅西整形外科 腰痛頭痛 クリニック

〒510-0892 三重県四日市市泊山崎町2-14

TEL : 059-347-1000 FAX : 059-347-5000

H P : <https://www.tomariekinishi-seikei.net>





発行日 2024年1月10日 発行  
発行所：一般社団法人Dr.3医科学研究所  
〒460-0012  
愛知県名古屋市中区千代田3丁目11-11  
麦島第2ビル601号  
TEL:052-253-9035  
FAX:052-211-9778

本書の無断複製(コピー)は著作権法上での例外を除き禁じられております。  
乱丁本・落丁本は購入店名を明記の上一般社団法人Dr.3医科学研究所宛てに  
お送り下さい。  
送料一般社団法人Dr.3医科学研究所負担にてお取替えいたします。  
なお、この本についてのお問い合わせは一般社団法人Dr.3医科学研究所に  
お願いいたします。

定価 300円(税別)